

磐梯山の火山活動解説資料（平成 20 年 11 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

裏磐梯（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラでは、山体北側火口壁の噴気の高さは 100m 以下で、噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 3 ～ 4）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・熱活動の状況（図 5 ～ 7）

10月27日から28日（前期間）に実施した山体北側火口壁噴気地帯及び沼の平の現地調査では、地表面温度分布¹⁾、及び噴気、地中温度²⁾は前回（2007年10月）と比べて大きな変化は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計による直接測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。

・地殻変動の状況（図 8 ～ 9）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

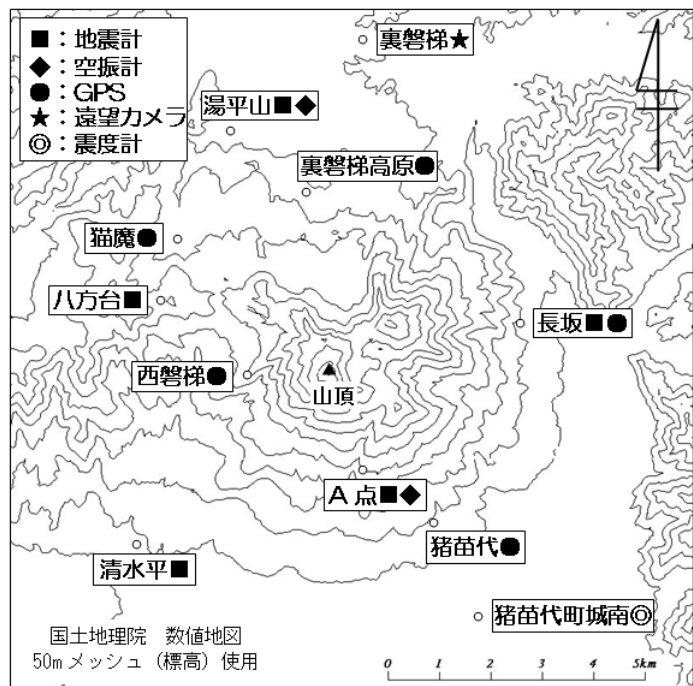


図 1 磐梯山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。
次回の火山活動解説資料（平成 20 年 12 月分）は平成 20 年 1 月 7 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

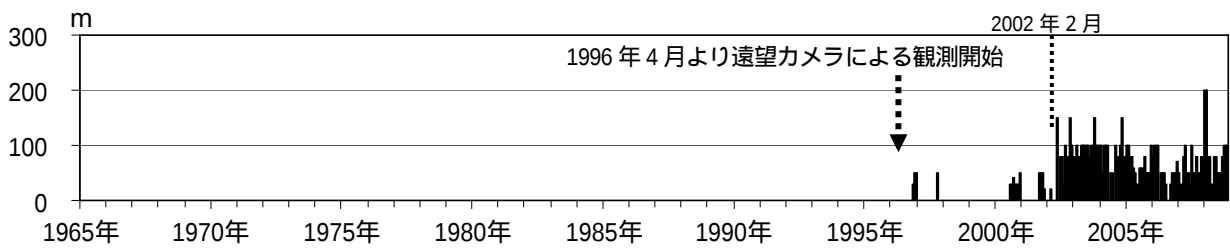


図2 磐梯山 月最大噴気高（1996年4月～2008年11月）

2002年2月以前は定時(09時,15時)及び随時観測による高さです。
2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

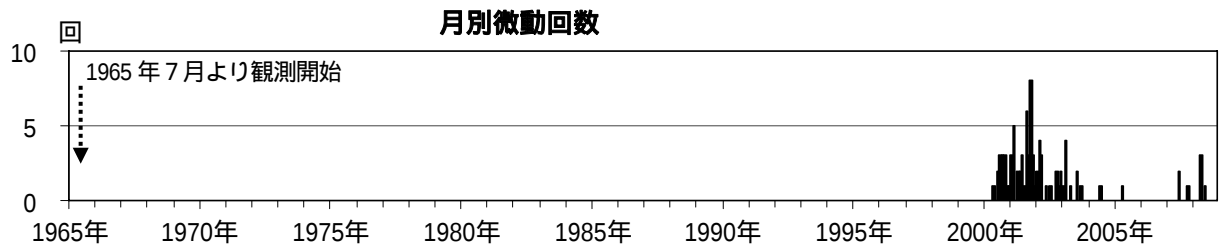
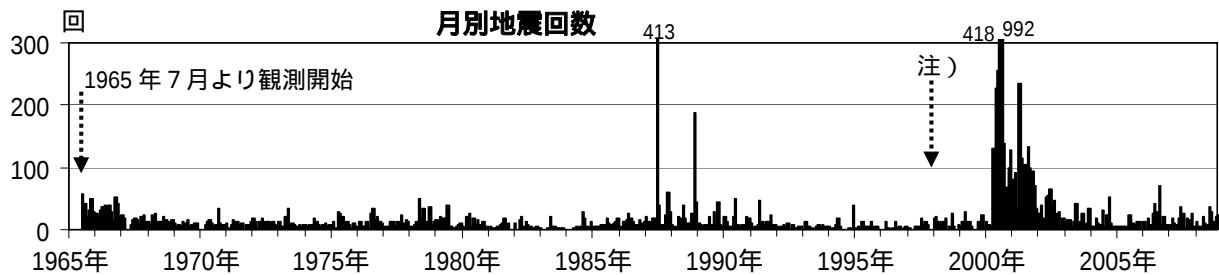


図3 磐梯山 月別地震回数、月別微動回数(1965年7月～2008年11月)

注) 1998年より検測基準を S-P 5 秒以下から S-P 2 秒以下に変更しました。

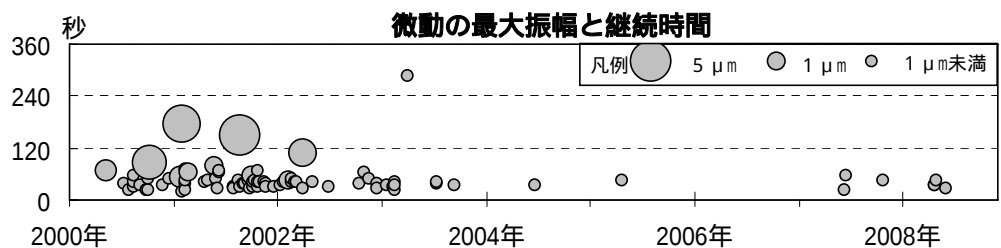
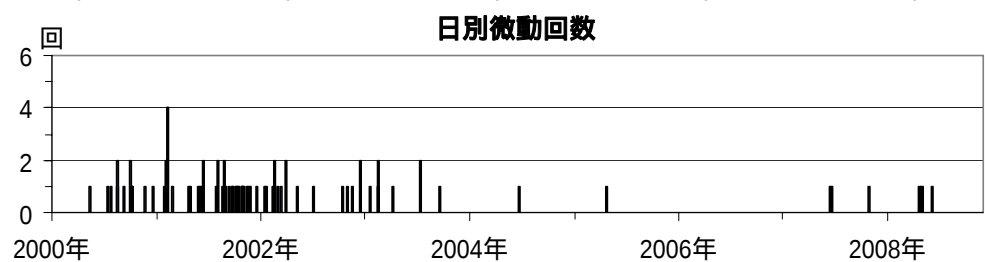
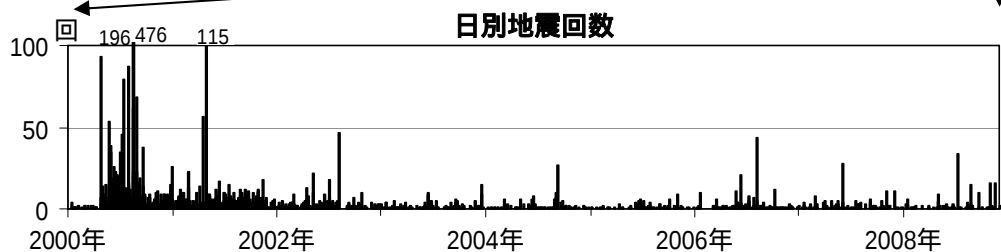


図4 磐梯山 日別地震回数、日別微動回数、微動の振幅と継続時間
(2000年1月～2008年11月)

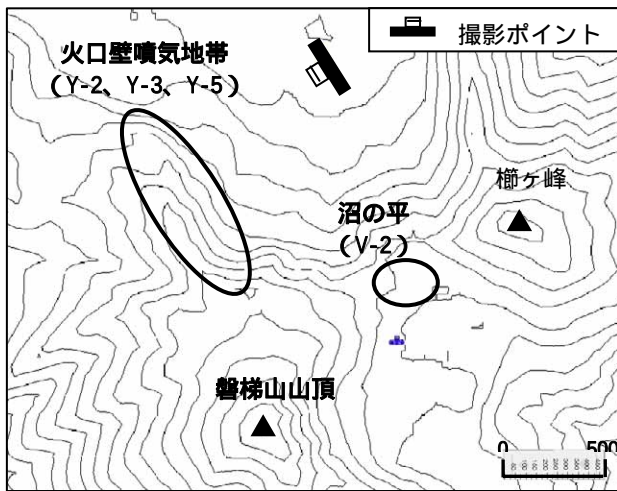


図 5 赤外熱映像観測点図

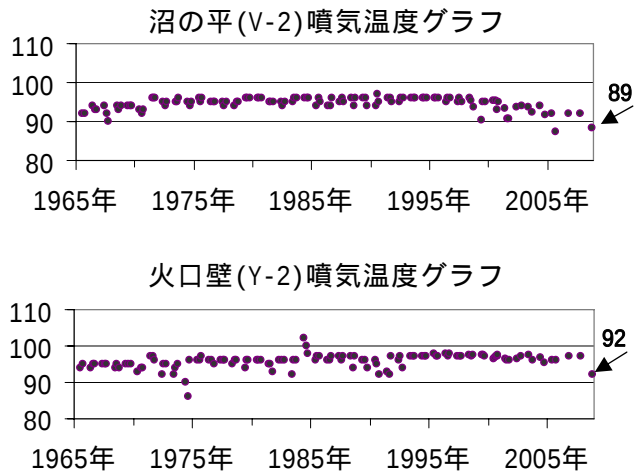
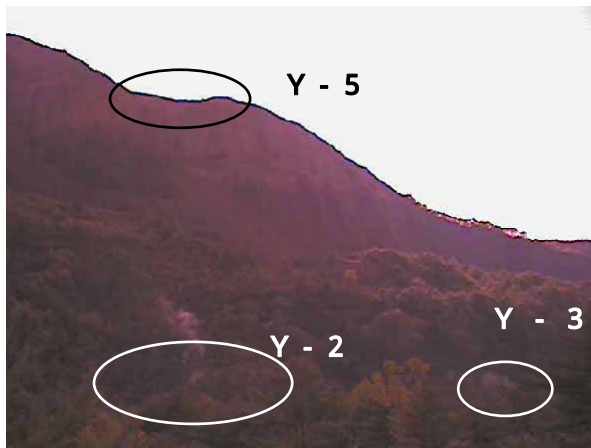
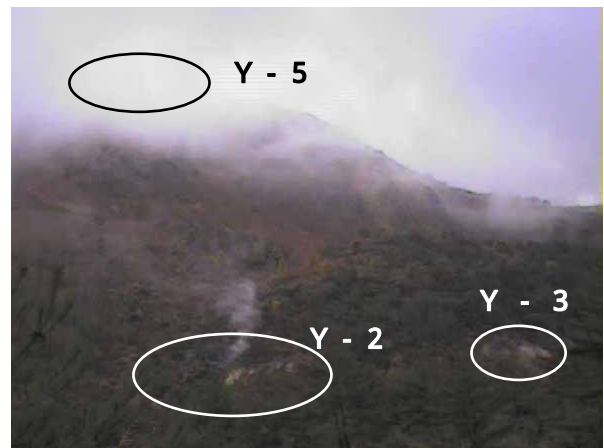


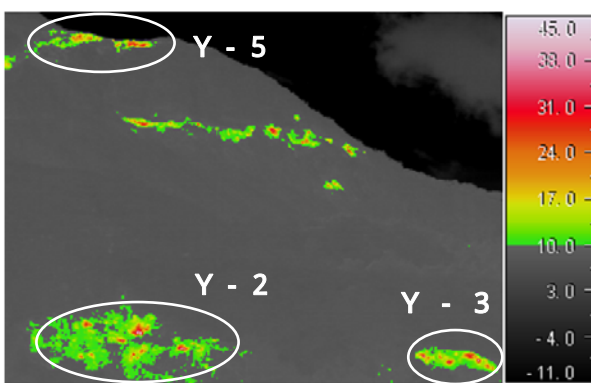
図 6 沼の平（上：V-2）と火口壁（下：Y-2）の噴気温度²⁾変化(1965 年 7 月～2008 年 10 月)



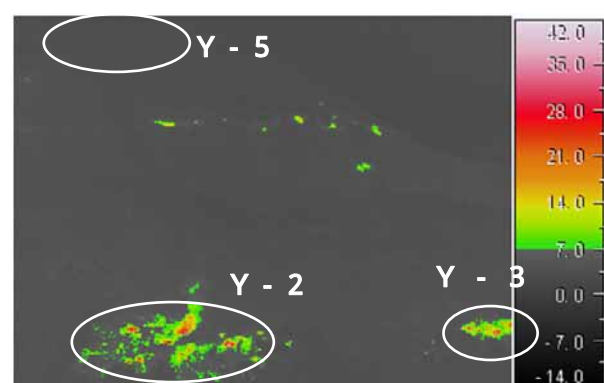
可視画像(2007.10.17)



可視画像(2008.10.28)



赤外熱映像（2007.10.17 曇り 気温 15 ）



赤外熱映像（2008.10.28 曇り 気温 5.4 ）

図 7 山体北側火口壁噴気地帯（Y-2、Y-3、Y-5）の可視画像（上）と赤外熱映像画像（下）
悪天のため、2008 年の Y-5 の熱異常は検出できず。

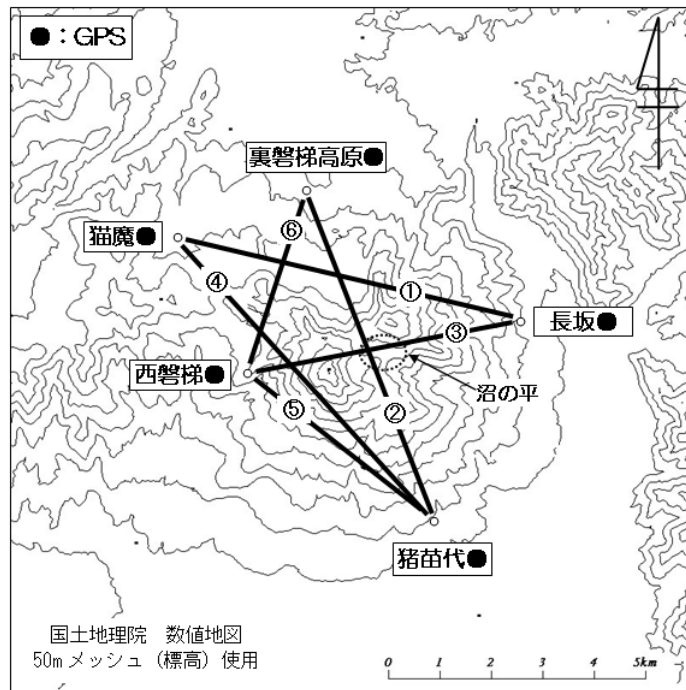


図 8 磐梯山 GPS 観測点配置図

GPS 基線 ~ は図 6 の ~ に対応しています。

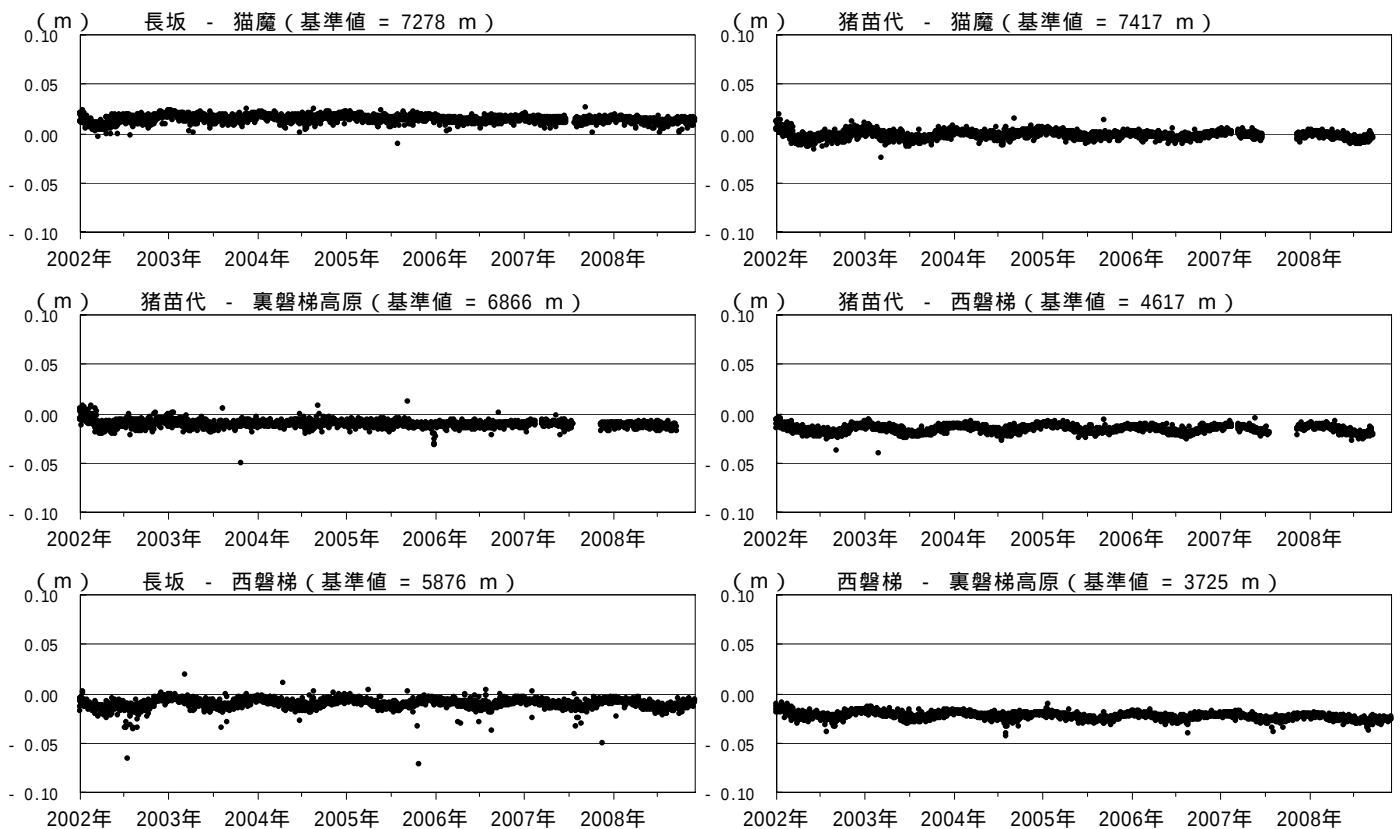


図 9 磐梯山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2008 年 11 月）

~ は図 5 の GPS 基線 ~ に対応しています。

猪苗代観測点は、障害のため 2007 年 7 月 20 日から 11 月 8 日まで、
2008 年 9 月 16 日以降欠測しています。